

学習指導案

北海道旭川西高等学校

国語科 廣 瀬 篤

a-hirose@hokkaido-c.ed.jp

科目名	論理国語	実施日時	令和5年12月1日
実施クラス	普通科2年4組	使用教室	多目的教室
教材	ワークシート		
単元	ループリックを活用した相互批評を通して、論理的な文章を書こう		
単元の目標	<p>・文章の種類に基づく効果的な段落の構造など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができる。〔知識及び技能〕（1） エ</p> <p>・立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫することができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕A 書くこと（1）ウ</p> <p>・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕</p>		
本時の目標	ループリックの交流を通して、効果的な文章の構成や論理の展開について工夫することができる。		
本時の評価の観点	<p>〔評価の観点〕 思考・判断・表現</p> <p>〔評価方法〕 リフレクションシートの記述の分析</p> <p>〔評価Cの生徒への手立て〕 リフレクションシート記入の支援</p>		
言語活動	例文の評価結果の比較を通して、それぞれが作成したループリックを交流する。		
生徒観	旭川市内の普通科と理数科の併置校。2年次11月の段階で9割以上の生徒が進学を希望している。倍率のある入試を経て高校に入学してきていることもあり、高校入学の時点である程度の基礎学力と学習習慣を持っている生徒も多い。いわゆる不本意入学のような生徒も中にはいるが、大多数の生徒はそれなりの努力を経て、望んで入学してきており、学習への意欲は高い。言われたことをしっかりやる真面目な生徒が多い一方で、試行錯誤しながら自分に合った学習方法を見いだしていくような主体的に学習に取り組む態度については、まだ不十分な生徒が多い。探究的な学習への意欲は高く熱心に取り組むが、自らが発見した問題（リサーチクエスト）を具体的な課題として設定する力は不十分で、教員の手助けを必要とする場面が多い。		
教材観	文章の論理性については授業等で繰り返し指導してきているが、定着しているとは言えない。本単元において、文章の比較分析を通して、伝わりやすく論理的な文章についての物差しを生徒の中につくり、それを活用して文章を書く、という活動を通し		

	て、生徒の論理的な文章を書く力を伸ばしたい。また、作成した文章を互いの物差しで測り合い、交流する活動を通して、より多角的に文章を分析することの有意性に気づかせたい。
--	--

学習活動		指導上の留意点	評価の実際
導入 5分	①前時までの学習内容確認 ②本時の目標・流れの確認 ③タブレットとロイロノートの準備確認		
展開① 15分	1. 他者のループリックを閲覧して、自分の作ったループリックとの相違点をワークシートに記入する【個人】 ①それぞれが文章の論理性を測るためにどのような観点を設定したかを、自分のものと比較して記録する ②観点ごとの評価の基準を見て、疑問に思ったことや改善案、気づきなどを記録する	・ロイロノートでお互いのループリックを閲覧して、観点と、観点ごとの評価の基準を自分のものと比較する ・閲覧は全員のものができるようにする ・分析と記録は同じグループ内のものを優先して行う	
展開② 20分	2. グループ内で意見交流をおこなう【グループワーク】 ①お互いに自分のループリックを紹介して、意見交流する ②気付いたことは逐次ワークシートに記入する	・お互いの観点を交流して、まずは「表現は違うが同じもの」などを整理・分類する ・整理した観点ごとに、より適切な評価の基準について話し合う	
まとめ 15分	3. 各自、自分のループリックの改善点と気づきをリフレクションシートに記入する【個人】 ①記入したリフレクションシートを撮影し、ロイロノートの提出箱に提出する ②次時確認	・グループワークでの気づきと改善点を踏まえて自分のループリックを改善・修正する ・「伝わりやすい文章」における論理性の大切さについて確認する	評価の観点 [評価の観点] 思考・判断・表現 [評価方法] リフレクションシートの記述の分析 [評価Cの生徒への手立て] リフレクションシート記入の支援